

すてきな
みんなの
えがおが
いっぱい！



保健室編

大阪市立墨江幼稚園
2024.6 No 2



保健指導 ばら組「はなしのフープ」

鳥のフープは、みんなが憧れる遠くの街に視察に出かけていきました。そこで出会ったおいしいおやつに魅了され、仲間にたくさんのお菓子をお土産に持って帰ります。森の仲間たちは、これまで食べていた木の実や野菜に代わってお菓子ばかりを食べるようになります。神様の「野菜や木の実をよく噛んで食べること」「食後の歯みがきをすること」という忠告を聞かずにお菓子を食べ続け、歯みがきもしなかったフープの歯はとうとうむし歯でなくなってしまうというお話です。



「歯を強くする食べ物について知らせました。「野菜食べる！」「お豆腐食べる～」「お魚好き～」と、元気よく反応するばら組の子どもたちでした。



食後の歯みがきの様子

これまで養護教諭が持つ顎模型を見ながら歯みがきをしていた子どもたちでしたが、それぞれが手順を示したカードを見ながら、歯みがきをしています。

絵を見ながら「こう？」「こう！」、「○○ちゃん、一緒にスガフ！」と説いていたりする姿が見られます。

年長児の中には、

「もう、見なくても
みがけるわ」と言って、
覚えた順序でみがく姿



歯みがき指導～大阪歯科学院専門学校～

専門学校の学生による紙芝居と、ブラッシング指導がありました。絵本でおなじみのパオくんとワニさんのお話で子どもたちは興味をもってお話を聞いていました。

その後のブラッシング指導では、奥歯のかみ合わせ→前歯と奥歯の表面→奥歯の内側→とすすめた後、「あと、みがいていない所はどこ？」の問い合わせ、「前歯の裏側」「ここ！」と子どもたちが答えていました。日々の取組でみがく場所を覚え、身に付いてきていることを感じました。

フッ素塗布に参加していただいた保護者の方には、仕上げみがきの仕方を教えていただきました。



保健指導 ゆり組「おとなの歯」

いろんな形の歯があることと、その役割について話しました。顎模型で奥歯の溝を確認したり、友達の口をのぞき込んで犬歯を見たりしました。また、生え始めの大人の歯は、柔らかくてむし歯になりやすいことや、6歳臼歯が口の一番奥にあるので歯ブラシが届きにくいことを知らせました。「前歯がないからみがかれへん」「今、（抜けた歯は）3本やで」と、歯の生え替わりには関心が高いようです。永久歯のむし歯をつくらないよう、

今後も食後の歯みがきに取組んで行きます。
おうちでは、仕上げ磨きをお願いします。

